

令和7年5月14日

広報広聴委員長 様

令和7年度米子市議会「議員と語ろう 議会報告会・意見交換会」
に係る意見交換会報告書

2班 班長 安達 卓是

米子市議会議会報告会・意見交換会開催要項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

テーマ	投票率について考えよう
参加者数	議員 8名 ・ 一般 24名 合計 32名
主な意見等	<p>概要 3グループの生徒による意見や提案の発表について</p> <p>I</p> <p>○身近な議会について、投票率を下げていることをもっと掘り下げて考えたいという意見。 ○議会や政治にもっと興味が湧くことを考えたい。また政策が何なのか見えづらいという意見があった。 ○政治不信であり夢や希望が持てないという意見が出された。 ○投票所等について、インターネットによる投票の導入を考えて欲しいという意見。 ○ショッピングセンターなどや若者が集まる所を投票所に増やすなど考えて欲しいという意見。 ○主権者教育について、主権者教育の充実を図ることを望む。実効性のある主権者教育を望むし、選挙権行使をより一層考えたいという意見があった。また、主権者教育の開始時期をもっと早めて欲しいという意見。 ○学校で模擬投票など機会を増やす工夫をして欲しいという意見。 ○広報について、誰にでも分かり易いポスターや候補者の訴えなどをもっと増やすことを考えて欲しい。 ○インセンティブについて、インターネット投票でポイント付加することやクーポン券の発行など取り入れて欲しい。</p> <p>II</p> <p>○投票の仕組みについて、移動投票所の導入を考えて欲しい。訴えることを十分に知らずに投票する不安があるなどという意見。</p>

	<p>○（学校など）教育について、もっと学校で選挙について学ぶことを増やして欲しいことがあるということや時間数を増やして欲しいという意見があった。</p> <p>○広報について、広報活動の活性化と多様性を考えること。期日前投票の周知をもっと充実させるという意見があった。</p> <p>○投票所などがよく分からないことについて、現在のやり方では、立候補者の情報が得にくいし、分かりづらいなどという意見が出た。</p> <p>○ITなどについて、インターネット投票の導入を考えて欲しい。</p> <p>○後期高齢者以上の高齢者にとって、立候補者との年齢のギャップを感じるという意見。</p> <p>Ⅲ</p> <p>○若年層の投票率向上について、海外と比較して若者の関心が低いという意見。</p> <p>若者自身にとって身近に感じづらい。投票率向上のために制度設計を考えることが必要という意見があった。</p> <p>○選挙制度について、政治不信と夢がないという意見。</p> <p>○参議院選挙の場合、投票しても自分の生活向上につながらないという意見。</p> <p>○投票方法などについて、交通弱者への対応として郵便投票の導入を考えて欲しいという。</p> <p>また施設入所者への投票のやりやすい対応を考えて欲しいという意見があった。</p>
<p>所 見</p>	<p>政治に対する関心は、日頃から無くはないようであり意見交換すると直ぐ反応よく自分の意見を言えることは、このような会で、改めて開催の意義を感じた。投票行動への呼びかけや選挙カーによる広報の受けとめが一時的な印象で終わっているという発言が複数の方から出された。</p> <p>一方で、投票への呼びかけ、投票できる時間や投票できる箇所がもっと広がることを普段から考えているという意見があった。</p> <p>投票権の年齢を下げたことやどこに投票所があるかなど今以上に広報することも選挙従事に関わる当事者は、考えなくてはならないと思った。</p> <p>高校生にとって、紙媒体中心の広報の仕方は、選挙事務担当や立候補する者も様々に政策や訴えたいことをもっとをリアルにスピーディに手段や方法を考えなくてはならないことを痛感した。</p>

	<p>選挙に関わる情報については、投票する側は、いつも待たされている感があるので今日出された若者の意見や提案を選挙管理委員会に伝えることが重要と思う。また今日のような議会報告会や意見交換会は、若者の投票率の低さについてテーマや内容を吟味しながら今後も回を重ねて開く必要があると思った。</p>
--	--

2班 Aグループ



B グループ



Cグループ

